

研究に関するお知らせ

2022 年 5 月 16 日

「川崎病の病因として SARS-CoV-2 感染の関与を検討する前向き研究」 に参加された患者さん・ご家族様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、上記の「川崎病の病因として SARS-CoV-2 感染の関与を検討する前向き研究」で得られた解析結果を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな採血・検査などは一切行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究にデータを使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

■研究対象となる方

既に当院で実施中の「川崎病の病因として SARS-CoV-2 感染の関与を検討する前向き研究」に参加され、データや試料の保管、二次利用に関して同意を頂いた患者さん・ご家族

■研究課題名

SARS-CoV2 感染後の小児多系統炎症性症候群および川崎病における病態・治療反応性を説明するサイトカイン動態の網羅的スクリーニング解析

■研究目的・方法

SARS-CoV-2 に感染した小児で川崎病に似た症状を呈する重症例が報告されています。小児多系統炎症性症候群 (multisystem inflammatory syndrome in children: MIS-C) と呼ばれており、多くは SARS-CoV-2 感染後 2-6 週間後に発症します。川崎病に似た症状を呈する一方で、いくつかの相違点が知られている新しい疾患で、川崎病と異なる病態である可能性が示唆されています。現時点では川崎病に準じた治療を行われていますが、詳しい病態はわかっていないことから、明確な治療方針は決まっていません。

国立国際医療研究センター研究所で実施中の「SARS-CoV2 感染後の小児多系統炎症性症候群および川崎病における病態・治療反応性を説明するサイトカイン動態の網羅的スクリーニング解析」では、MIS-C 患者の各種検査データについて、川崎病や他の発熱性疾患等と比較することで、病態解明および適切な治療薬選択に役立てることを目的としています。

今回、MIS-C および川崎病の病態解明を目的として、「川崎病の病因として SARS-CoV-2 感染の関与を検討する前向き研究」に参加して頂き、データや試料の保管、二次利用にご同意頂いた患者さんの検体および検査結果を、二次利用として、「SARS-CoV2 感染後の小児多系統炎症性症候群および川崎病における病態・治療反応性を説明するサイトカイン動態の網羅的スクリーニング解析」に、匿名化された状態で提供致します。

■研究期間：研究許可日～2024年3月31日

（「SARS-CoV2 感染後の小児多系統炎症性症候群および川崎病における病態・治療反応性を説明するサイトカイン動態の網羅的スクリーニング解析」研究終了まで）。

■個人情報の取り扱い：

匿名化された検査結果、臨床情報のみを扱うため、お名前、住所などの個人を特定する情報にはアクセスいたしません。学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

■研究責任者：

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 小児科 水上愛弓

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター研究所

ゲノム医科学プロジェクト 酒井愛子

■問い合わせ先：

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 小児科 高砂聡志

TEL：03-3202-7181（代表）、FAX：03-3207-1038